



12月定例会 一般質問

11人から15問 行政に問う

自治体DX

町 自治体デジタルトランスフォーメーションの推進は一体的にタブレット端末を導入する予定



中川 ゆかり 議員

町の自治体DXを、どのように推進するのか。

議員
職員の意識向上やスキルアップの取り組みは。

情報政策監

県が実施している「みんなのDX研修」を、管理職を含む職員全体で受講し、意識改革に取り組んでいる。

情報政策監

11月に「坂町DX推進委員会」を役場内に発足し、ボトムアップで現場の実態に即した問題を提起させ、DX導入の可否の検討を進めることとしている。

議員
横断的な組織の推進体制の整備が必要だが。

町長

DXはトランスフォーメーション（変化・変革）の方が大切である。これを活用していかに行政課題を合理的に解決していくかという意識が、私を含め全職員に必要。トランスフォーメーションをしっかりとやらなくてはいけないと強い思いを持っている。

議員
議会も研修など行っているが、費用対効果を考慮し、議会と行政がタブレット端末を導入しては。

町長

念頭に置いて情報政策監とも協議している。ただ、行政だけが先行するのではなく、予算を伴うものであり行政も議会も一体的に取り組んでいかなければならない。行政においても準備検討を進め、議会と同時にタブレットを導入できればと考えている。

循環バスと高齢者

町 国・県の動向を見ながら協議・検討する



柚木 喬 議員

高齢者に無料バス券を発行しては。

町長

将来にわたって安定的にサービスを提供するため受益者負担とし、直営で利用しやすい料金設定としている。

議員

循環バスについて、外注化やデマンド交通など将来的な運行形態をどのように考えているのか。

町長

土曜日の試行運行は、一旦、12月で終了し、利用状況、収支状況の結果を踏まえ、循環バス検討委員会や公共交通会議に諮問し、今後の運行形態を進めてまいりたい。

町長

現在、国や県などで「新たな仕組みや制度」を検討していることを踏まえ、坂町に合った交通手段や交通形態が今後必要と考えている。引き続き国や県の動向も見ながら、協議・検討を進めていく。

循環バスの今後

町 循環バスの維持に全力を傾注する



池脇 雅彦 議員

土曜日の試行運行期間中の平均乗車率は、平日を100とした場合、何%か。

町長

10月末時点で64・8%となっている。

議員

令和2年度から令和4年度の年間利用者数の推移は。

都市計画課長

令和2年度は4万7930人、令和3年度は4万8814人であった。この2カ年度はコロナ禍が影響していると考える。令和4年度は5万3352人であった。

議員

循環バスの運行は、累積赤字を伴うが、住民の幸せにつながるような運行を目指してもらいたい。

町長

バスを利用しない方も、利用する方も、移動する手段がない方のため、循環バスをみんなを守っていくという考え方のもとに、これからの循環バスの維持に全力を傾注したい。

議員

運行期間中における収支の状況は。

町長

7月から10月末の4カ月間で、17日間運行し、95万円の赤字額となっている。

議員
土曜日試行運行の来年3月末までの延長や、4月以降の土日・祝日運行の方針は。



地域をつなぐ循環バス



みんなで守ろう循環バス